

(学年) 第1学年, (教科・科目) 英語・英語表現 I

一斉学習

## (単元) Lesson 17 Doing a Homestay

(本時のねらい)

「動詞の～ing形」が名詞と同じ働きをする動名詞の基本的な働きを学習し、動名詞が主語、補語、目的語になることを認識させる。また「前置詞+動名詞」で前置詞の目的語になることも理解させる。

多くの英文に触れることで理解力を高め、定着させるよう指導する。さらに、ペアでの活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

(ICT活用方法)

電子黒板を活用して文法事項を説明し、デジタル教科書を利用して、例文の理解を促す。生徒が自分の1人1台端末を活用して、授業支援クラウドアプリに配布された課題に取り組むことで、主体的に学習に取り組む環境作りを心掛けている。また、簡単な英語で自分のことについて紹介するペアワークで、積極的に英語で表現する活動につなげる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 5分	・文法事項の確認	・文法事項を理解できているかを確認。	・動名詞の働きを電子黒板で確認。
展開 40分	・例文の確認  ・練習問題に取り組む。  ・英作文に取り組む。	・音声を聞き、音読させる。 ・ペアで音読する。  ・ワークシートで問題に答える。  ・動名詞を使い、好きなこと・得意なことなどを英語で書く。	・デジタル教科書を投影し、本文音読ツールを使用しながらコーラスリディング。  ・授業支援クラウドアプリで課題を配布する。 ・生徒の解答を1人1台端末を使い個別に採点し、助言する。  ・生徒の模範解答を投影し、発表させる。 ・授業支援クラウドアプリで課題を配布する。 ・生徒の英作文を1人1台端末を使い、助言する。
まとめ 5分	・自分のことを英語で表現する。	・アクセントや発音・内容の確認をさせる。	・授業支援クラウドアプリで仕上げた課題をペアでやりとりする。

(授業の様子)



電子黒板活用



1人1台端末活用



1人1台端末活用

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

生徒は興味を持って，意欲的に授業に参加していた。電子黒板・デジタル教科書を使うことで，視覚的な理解を促すことができた。

自分の書いた英作文を，模範解答として電子黒板で全体に紹介することで，生徒のやる気を引き出すことができた。

授業支援クラウドアプリの効果的な活用が，今後の課題である。